

**県本部第101回中央委員会**

日時：7月20日(金) 10:00~15:30  
 場所：福島市「福島グリーンパレス」  
 主な議案(予定)：  
 春闘総括(案)、当面の闘争方針(案)、  
 補正予算(案)など

# 自治労福島

自治労福島県本部機関紙

E-mail:jichou@jichiro-fukushima.or.jp

第794号

2018年(平成30年)

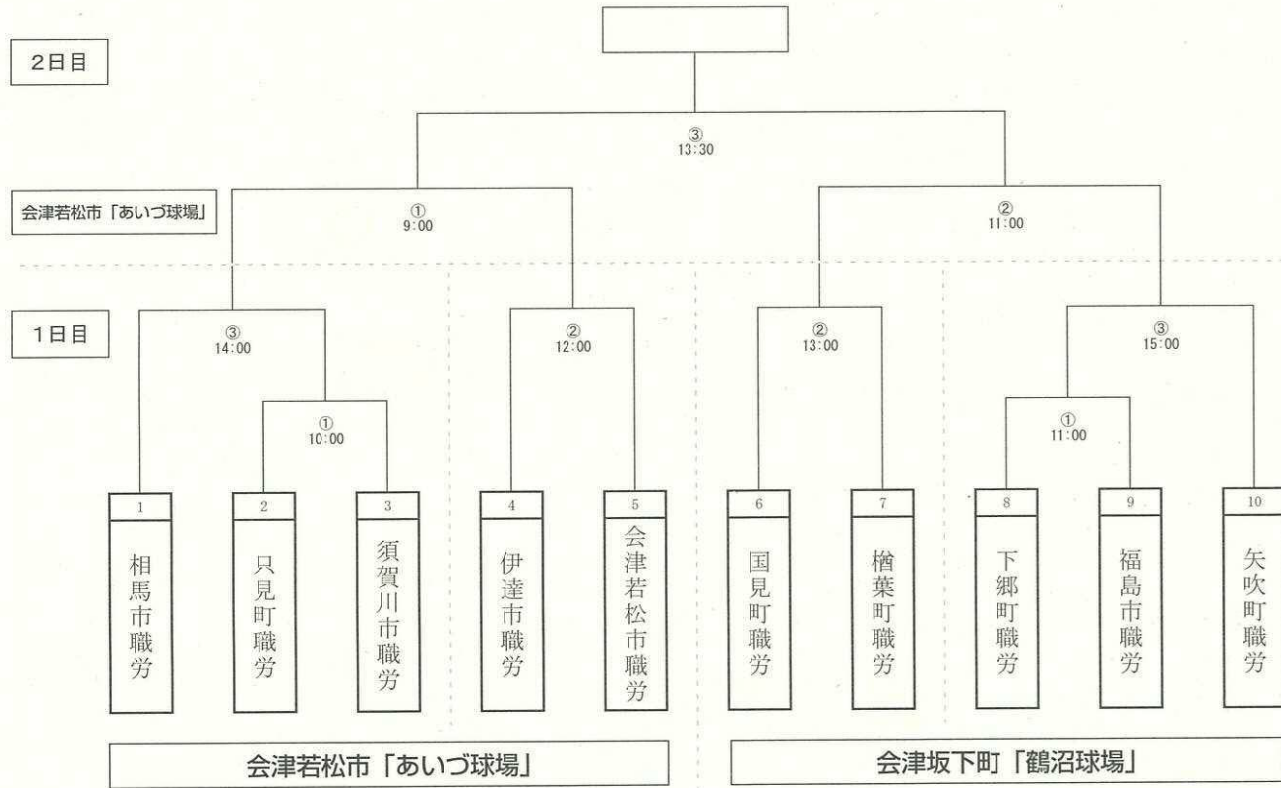
6月18日

福島市荒町1-21  
 自治労福島県本部  
 発行人志賀一幸



## 自治労野球福島県大会

■とき：6月20日(水)~21日(木) ■ところ：会津若松市「あいづ球場」、会津坂下町「鶴沼球場」

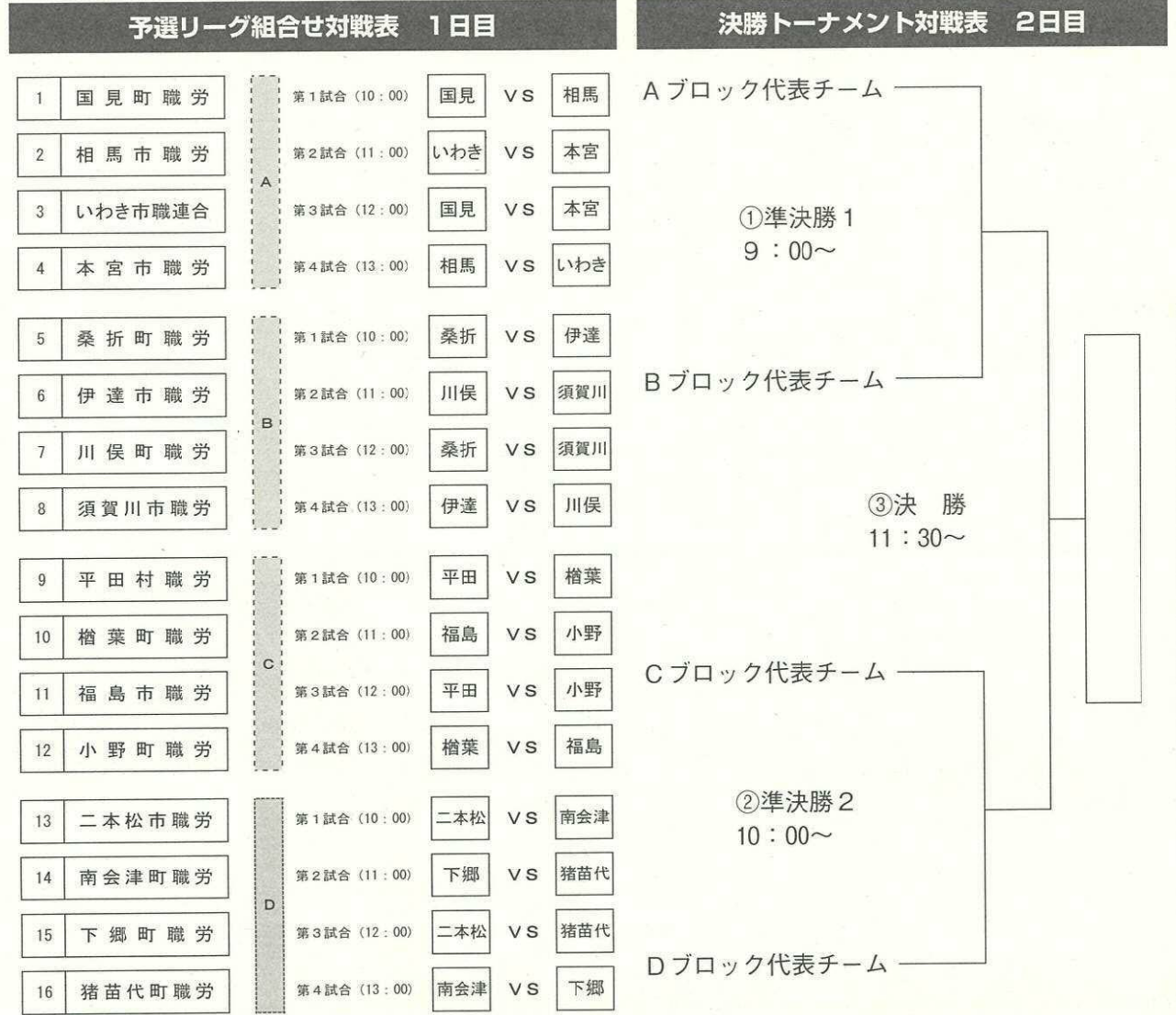


6月6日に福島市で開催した事前会議(抽選会)で左記のとおり組み合わせが決定した。8月8日(水)~9日(木)に秋田市で開催される東北地連大会出場を目指し、野球10チーム・バレー16チームは熱戦を繰り広げる。

## 第39回全日本自治体職員スポーツ大会 福島県大会の組み合わせ決まる

## 自治労女子バレーボール福島県大会

■とき：6月23日(土)~24日(日) ■ところ：猪苗代町「総合体育館 カメリーナ」



当面の日程	
6月20日(水)~21日(木)	第39回自治労軟式野球福島県大会 (あいづ球場ほか)
6月23日(土)~24日(日)	第39回自治労女子バレーボール福島県大会 (猪苗代町総合体育館「カメリーナ」)
7月6日(金)	県本部第10回中央執行委員会、県本部第7回単組代表者会議 (福島グリーンパレス)
7月10日(火)	2018年度県本部男女平等推進集会・労働安全衛生集会 (ラコパふくしま)
7月20日(金)	県本部第101回中央委員会 (福島グリーンパレス)
8月3日(金)~4日(土)	2018年度県本部労働学校 (飯坂温泉「ホテル聚楽」)

第37回地方自治研究全国集会(土佐自治研)日程表

日程
□第1日目 10月5日(金)
13:00~17:30 全体集会
記念講演
パネルディスカッション
会場:高知市「高知県立県民体育館」
□第2日目 10月6日(土)
9:00~16:30 分科会
会場:高知市等の会場に分散
□第3日目 10月7日(日)
9:00~11:40 全体集会
会場:高知市「高知県立県民体育館」

- 分科会
【第1分科会】自由は土佐の自治研より
【第2分科会】まちの元気を語るかよ ~町人中和山ん中の活性化~
【第3分科会】どうする?どうなる?これからの自治体
~地方創生政策と議会改革から考える~
【第4分科会】"土佐さんば"
~若者と考える自治体の未来~
【第5分科会】人口減少社会をどう生き抜くか!?
【第6分科会】「ごめん(後免)」と「いーの(伊野)」で、みんなにやさしい公共交通
【第7分科会】すべての人がともに暮らす社会づくり
【第8分科会】市民とともに「憲法」と「平和」を考える
~"まち"がその気になれば、戦争だって、止められる~
【第9分科会】子どもと地域社会
~子どもの居場所を作るのは誰?~
【第10分科会】みんなで支えあおう!地域包括ケアとコミュニティ
【第11分科会】自治研で探る「街中八策」
【第12分科会】新しい公共のあり方「住民協働」理想と現実
【地元自治体企画】「ふるさと」を次の世代へ
~「犠牲者ゼロ」の防災まちづくりへ~

土佐自治研の集会テーマ
「創ろう、市民自治の
ゆたかな社会」土佐の
地に学び、私たちの手で
自由・自治・幸福を作り
だそう」
レポート
単組及びNPO・市民
団体、地域研究機関等か
らの研究活動や実践活動
についてのレポートを募
集しています。
応募いただいたレポ
ートは、全国集会において

論文
自治労内外から広く、
地方自治・地域公共サ
ービスに関する論文が募集
されます。テーマの限定
はなく、エッセイや研究
報告、実践報告など形式
は問いません。自治体職
員、地域公共サービス関
係者、市民、地域の研究
者など(共同でも可)ど
なたでも応募できます。
応募いただいたものは、
全国集会において報告集
に掲載されます。第14回
地方自治研究賞の自治研
究論文部門への応募とし
て取り扱われます。

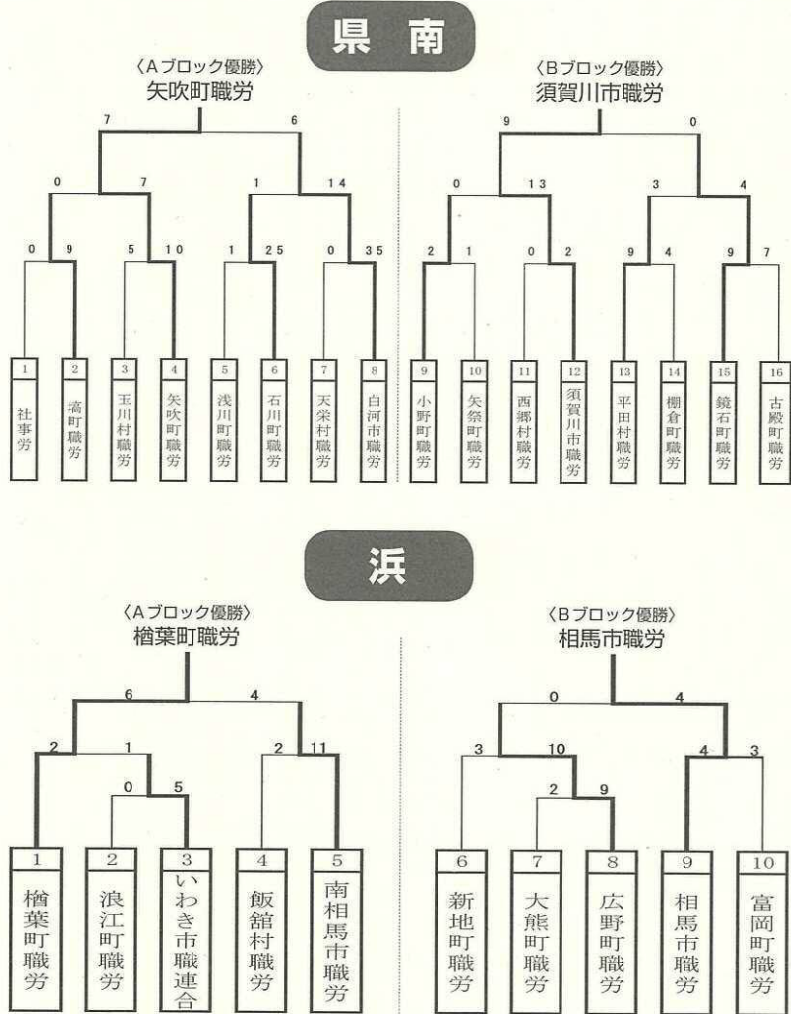
10月5日(金)~7日(日)
3日の日程で、高知県に
おいて、第37回地方自治
研究全国集会が開催され
ます。
県本部では、集会参加
者と土佐自治研へのレ
ポートと論文を募集して
います。
関連するテーマの分科会
別レポート報告集に掲載
され、第14回地方自治研
究賞の自治研活動部門へ
の応募レポートとして取
り扱われます。

参加者・レポート募集中

7月20日(金)厳守



総支部予選大会の結果(野球)



編集後記

福島県も梅雨に入りま
した。毎年あまり好きな
時期ではありませんが、
夜に田んぼの水番をする
農家の方々のことを思う
と大切なことだと感じま
す。
さて、県本部に着任し
てから公共交通機関を利用
することが増え、特に
鉄道を多く利用するよう
になりました。二十代の
頃はどこに行くにも車
でした。今は待ち時間や
乗車している時間も苦に
ならず、先日のワーク
ルール検定のテキストを
確認したり、書類の
チェックをしたり、考え
事をしたりしながら有効
に利用させてもらってい
ます。
公共交通がなくならな
いうようにできる限り利
用していこうと思う今日
この頃でした。

君たちはまだ知らない
必要なときがきっと来る

Advertisement for '団体生命共済' (Group Life Mutual Insurance). It features cartoon characters and text: 'みんなで加入しよう!', 'ケガのときは、通院だけでも保障するんだしっ!', '病気のときは日帰り入院から保障するんだよ', 'もちろん万が一の場合は、家計に優しい掛金で大きな安心!', '組合員の助け合いで、充実した保障だね'. At the bottom, it says '全労済 全国労働者共済生活協同組合 自治労共済本部 全日本自治体労働者共済生活協同組合'.